

日本梱包運輸倉庫、大崎営業所が新倉庫に移転

Edited By LogisticsToday On 2015/04/21



▲大崎営業所の外観（出所：日本梱包運輸倉庫）

日本梱包運輸倉庫は21日、大崎営業所（宮城県大崎市）を新築した倉庫に移転し、営業を開始したと発表した。

新営業所は東北自動車道古川ICから5キロと近く、国道4号線に面した沢田工業団地内に立地。施設は鉄筋造2階建て、延床面積は1万4215平方メートルで、彫り込み式のコンテナピットを備え、45フィートコンテナに対応するドックレベラーも2基設置した。

■大崎営業所の概要

住所：宮城県大崎市古川沢田字新貝沼53-11

構造：鉄筋造2階建て

種類：営業倉庫

敷地面積：1万4487平方メートル

延床面積：1万4215平方メートル

主要施設：掘り込み式コンテナピット、ドックレベラー2基（45フィート対応）、荷物用エレベータ2基

■大崎営業所の位置

[mappress mapid=" 160"]

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト： <http://www.logi-today.com>

URL to article： <http://www.logi-today.com/158751>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト。 All rights reserved.